



2021年2月15日

各位

会社名 株式会社トライアイズ
代表者 代表取締役社長 池田 均
(コード4840 JASDAQグロース)
問合せ先 執行役員経理部長 上嶋 悦男
電 話 03(3221)0211

2020年12月期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2020年10月30日に公表いたしました2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の連結業績予想と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想との差異

2020年12月期連結業績予想と実績値との差異 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,019	101	37	4	0円58銭
実績(B)	1,004	98	35	2	0円35銭
増減額(B-A)	△14	△2	△1	△1	—
増減率(%)	△1.4	△2.8	△4.9	△40.9	—
(参考) 前期実績 (2019年12月)	1,715	250	179	125	15円79銭

2. 差異の理由

税金等調整前当期純利益までは概ね計画どおりに推移しておりましたが、法人税等及び法人税等調整額を含む税金費用が想定を上回ったことにより、最終利益が当初の予測を下回る結果となりました。

建設コンサルタント事業においては、受注高が当初の計画を若干下回ったことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、一部の業務について工期の延長により完成時期が先送りとなった案件が発生したことにより、売上高は528百万円(計画比4.8%減少)と当初の計画を下回る結果となりました。

ファッションブランド事業においては、外出自粛要請及び冠婚葬祭等のセレモニーの中止を受け、主力製品の需要が激減したことに加え、当社製品販売先である小売店も休業を余儀なくされたものの、期末におけるセール活動が功を奏し、売上高は275百万円(計画比5.2%増加)と当初の予測を上回る結果となりました。なお、投資事業につきましては物件が安定的に稼働したことを受け、売上高は200百万円(計画

比1.1%減少)と当初の計画どおりに進捗いたしました。これらの結果、売上高は1,004百万円(計画比1.4%減少)と概ね計画のとおりとなりました。

当連結会計年度の原価率は48.1%(計画は47.1%)と概ね計画どおりに推移し、販売費及び一般管理費は422百万円(計画比3.5%減少)と当初の予想より減少した結果、営業利益は98百万円(計画比2.8%減少)と概ね計画のとおり推移いたしました。

営業外損益についても計画のとおり推移し、経常利益は35百万円(計画比4.9%減少)となりました。計画で想定していなかった特別損益の発生はなく、税金等調整前当期純利益は72百万円(計画比1.52%減少)と概ね計画どおり推移しましたが、法人税等及び法人税等調整額を含む税金費用が69百万円(計画比4.2%増加)と予測を上回る結果となりました。この結果、当期純利益については2百万円(計画比40.9%減少)と予測を下回る結果となりました。

以上